

CSR報告書2020

Corporate Social Responsibility Report



トナミホールディングス株式会社

経営理念

「和」の経営理念を実践し、経営基本方針に基づいて
「企業の社会的責任(CSR)」を果たしていきます。



トナミホールディングスグループは、お客様に「安全・確実・迅速なサービス」を提供することを通して
事業の発展をはかり、株主の皆様へ「適正で安定した配当」を継続することを経営の基本方針としています。
この方針に基づいて、収益性を確保し、常に企業価値の向上に努め、その成果を
株主の皆様、お客様、取引先、社員、社会と適正に分かち合うことが、
トナミホールディングスグループの使命であると考えています。

編集方針

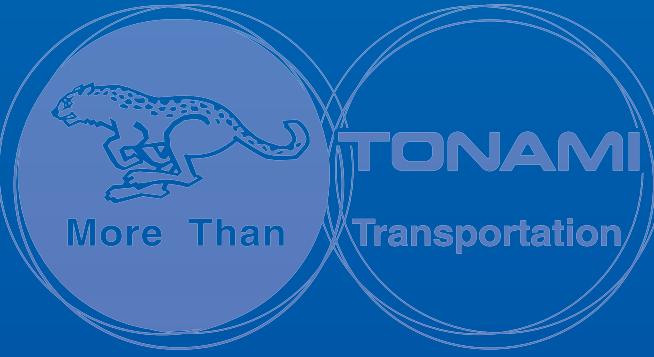
- この報告書は、2019年度を中心としてトナミホールディングスグループが行ったCSR活動を紹介しています。
- 構成にあたっては「GRIサステナビリティ・レポート・スタンダード」を参考にしています。

対象期間

2019年4月1日～2020年3月31日（一部対象期間外の活動
も含みます。）

対象範囲

トナミホールディングスグループすべての事業会社の活動実績
を対象としています。



CONTENTS

経営理念	1
会社概要・グループネットワーク	3
トップメッセージ	5
財務ハイライト	7
非財務ハイライト	8

事業概要	
物流関連事業	9
特別積合せ貨物運送事業	
3PL(サードパーティロジスティクス)事業	
国際物流事業	
国内航空事業	
引越事業	
通運事業	
ロジスティクスサポート事業	
情報処理事業	13
販売事業	13
その他	14
車両整備事業	
食品製造	
環境関連	
トナミホールディングスのCSR重要課題	15
安全な社会づくり	
輸送の安全確保	17
物流品質向上	20

環境保全への取り組み	
環境マネジメント	21
地球温暖化防止・大気汚染防止	23
リサイクルの推進	26

社会とのつながり	
地域社会とのコミュニケーション	27
働きやすい職場づくり	33

ガバナンス	
コーポレートガバナンス	35

会社概要 (2020年9月30日現在)

商 号 トナミホールディングス株式会社
設 立 1943年6月1日
資 本 金 14,182百万円
本 社 〒933-8788 富山県高岡市昭和町3丁目2番12号



海外現地法人

- 托納美物流(大連)有限公司
中国遼寧省大連市保税区南港路18-2号B棟701
 - TONAMI (THAILAND) Co.,Ltd.
7th floor J.B.Building, No.32 Viphavadi Rangsit Road, Jompol, Chatuchak, Bangkok 10900, Thailand
 - MAHAPORN TRANSPORT Co.,Ltd.
205/10 Moo 3 Laemchabang Industrial Estate, Thungsukla, Sriraca, Chonburi 20230, Thailand
 - H&R Forwarding Co.,Ltd.
7th floor J.B.Building, No.32 Viphavadi Rangsit Road, Jompol, Chatuchak, Bangkok 10900, Thailand



グループネットワーク(本社所在地)

北陸エリア

- トナミホールディングス株式会社
富山県高岡市昭和町3-2-12
 - トナミ運輸株式会社
富山県高岡市昭和町3-2-12
 - 北陸トナミ運輸株式会社
富山県高岡市上四屋4-42
 - 石川トナミ運輸株式会社
石川県白山市平松町158-1
 - 福井トナミ運輸株式会社
福井県敦賀市羽織町13-3
 - 東洋ゴム北陸販売株式会社
富山県富山市吳羽町7271-1
 - トナミ商事株式会社
富山県高岡市昭和町1-2-10
 - 高岡ケーブルネットワーク株式会社
富山県高岡市昭和町1-2-10
 - 高岡通運株式会社
富山県高岡市能町1935
 - 株式会社ジェスコ
富山県富山市婦中町広田3978
 - アルハイテック株式会社
富山県高岡市オフィスパーク1



トナミ運輸 富山支店、流通センター

信越エリア

- トナミ運輸信越株式会社
新潟県新潟市西区北場1087-1
 - 新潟トナミ運輸株式会社
新潟県新潟市西区北場1087-1
 - 阿南自動車株式会社
長野県諏訪市中洲5502-18



阿南自動車 松本支店

関東エリア

- 関東トナミ運輸株式会社
東京都中央区日本橋横山町4-5 福田ビル5階
 - トナミ国際物流株式会社
神奈川県横浜市中区山下町23 日土地山下町ビル7階
 - トナミ首都圏物流株式会社
神奈川県海老名市本郷1675
 - 北関東トナミ運輸株式会社
埼玉県熊谷市新堀1054-4 2階
 - 株式会社テイクワン
埼玉県川口市新堀988
 - 株式会社ケーワイケー
千葉県柏市藤ヶ谷676-1
 - トナミビジネスサービス株式会社
東京都中央区日本橋堀留町2-8-4 日本橋コアビル7階
 - ジャパン・トランズ・ライン株式会社
東京都江東区東雲1,7,30(第一貨物(株)東京支店内)



トナミ首都圏物流 県央支店、湘南支店

東海エリア

- トナミ第一倉庫物流株式会社
愛知県名古屋市港区砂美町128
 - 東砺運輸株式会社
愛知県名古屋市西区浮田野町5



トナミ第一倉庫物流 大口第2営業所

中国エリア

- トナミ運輸中国株式会社
広島県広島市西区草津港3-2-1
 - 中央冷蔵株式会社
広島県広島市西区草津港1-7-7
 - 新生倉庫運輸株式会社
広島県広島市南区西蟹屋3-3-26



新生倉庫 岡山流通センター

関西エリナ

- 京神倉庫株式会社
京都府京都市下京区和氣町21-1
 - トナミ近畿物流株式会社
大阪府松原市天美北4-1-8
 - KSR株式会社
京都府京都市下京区中堂寺壬生川町20-1



京神倉庫 流通加工支店



トナミホールディングスグループは、
持続的な成長のもと
質の高い物流サービスの提供を通じて
社会に貢献してまいります。

トナミホールディングス株式会社
代表取締役社長

綿貫 勝介

事業戦略とCSR経営

この度の新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げます。また、罹患された方々、感染拡大により事業や生活に影響をお受けになられている方々に心よりお見舞い申し上げるとともに、医療関係の皆様に心からの敬意を表します。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、国内外の経済活動へも大きな影響が出ており、第2波への警戒から回復の動きは鈍く、景気の先行きが懸念されております。

当社グループでは、新型コロナウイルス感染症への対応として、全社員に対し感染予防策の取り組みを徹底し、お客様、社員の安全を最優先に、安定した物流サービスの維持に努めるとともに、コスト構造の見直しなど、厳しい経営環境に対応するための事業基盤の再構築を進めております。

一方で、経済の停滞に伴い労働市場も変化しておりますが、物流業界においては依然として人材不足の状況は続いていると認識しております。

魅力ある職場環境の実現に向けた働き方改革の一層の推進に加え、業務の生産性向上は、物流事業者の社会インフラとしての発展と存続には必要不可欠であり、現場目線で抽出した業務上の無理・ムダについて、最新のIoT技術を活用し、DX(デジタルトランスフォーメーション)の概念も取り入れながら改善取り組みを進めております。

そのような中、当社グループは2020年度を最終年度とする第21次中期経営3ヵ年計画において、「持続的な成長企業への進化!! Try and Growth “2020”」をコーポレートスローガンに掲げ、「働き方改革」を経営の中心に据えて、「事業戦略とCSR経営」の一体的な取り組みを推進しております。

アフターコロナの世界では物流に求められる役割機能もさらに変化していくと思われ、「持続可能な開発目標」として、拠点整備やシステム開発に向けた投資、人材の採用・定着・育成などの重点戦略の進展により事業収益の拡大と安定事業基盤を確立し、持続的な成長をめざしてまいります。

その実現のためにも、企業理念・企業ビジョンに掲げた基本精神は遵守しつつ、当社グループの環境活動も事業活動と一体となって取り組むことが、継続的な活動を促し、社会から必要とされる企業として持続的成長につながると思っております。

コーポレートガバナンスの強化

当社グループは、「安心・安全・安定」した物流サービスの提供を基本として、働きやすい職場環境の整備やITを最大限に活用した提案力の強化に取り組み、ライフラインの一翼を担う物流サービス機能の向上を図り、社会の期待に応えてまいります。

トナミグループ社員行動規範に則り、「事業活動のあらゆる局面

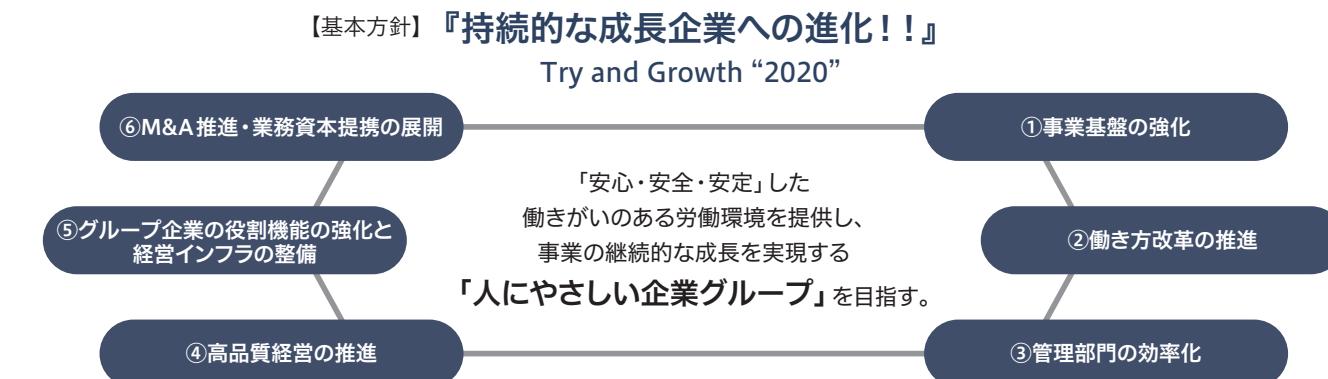
におけるコンプライアンスの徹底」を行動原則として、物流事業の一層の価値創造とCSRを果たす経営に邁進してまいります。

また、「輸送の安全を確保すること」、「地球環境に配慮すること」、「法令やルールを守ること」、「人権を尊重すること」、「地域社会に貢献すること」は、ESGに取り組む物流企業として欠くこと

のできないものであり、コーポレートガバナンスのさらなる強化により、一層の社会的価値を創造してまいります。

このような当社グループのCSR活動に多少なりともご理解を頂き、今後ともみなさまから忌憚の無いご指導・ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

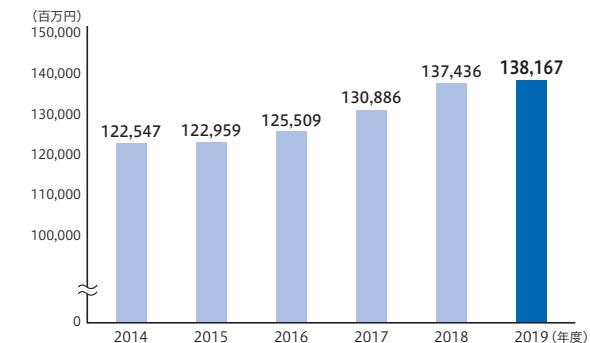
■第21次中期経営3ヵ年計画(2018～2020年度)



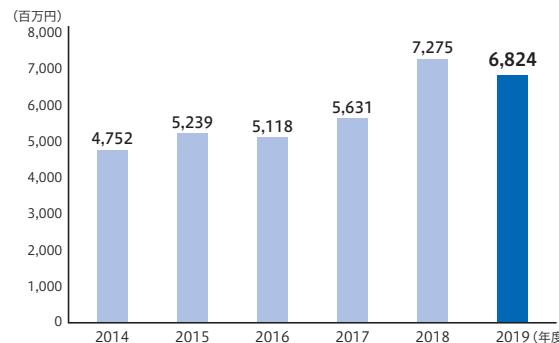
『安定成長企業へと進化する3ヵ年』と位置付け、各事業分野における実績とノウハウに裏付けられた質の高いサービスを提供し、『お客様・株主・社員・社会(地域)』からも信頼を得られるよう、一層の企業価値向上と持続的な成長の実現に努めてまいります。

財務ハイライト

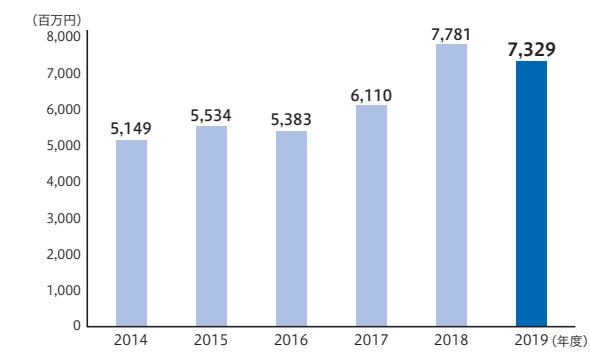
連結営業収益



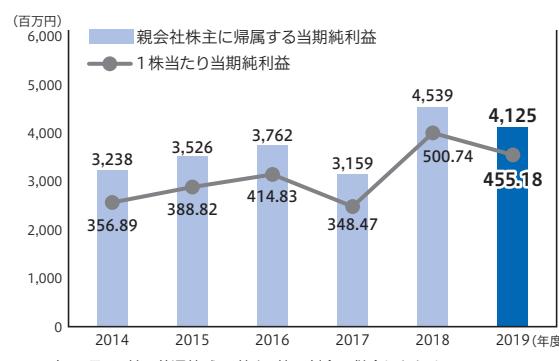
連結営業利益



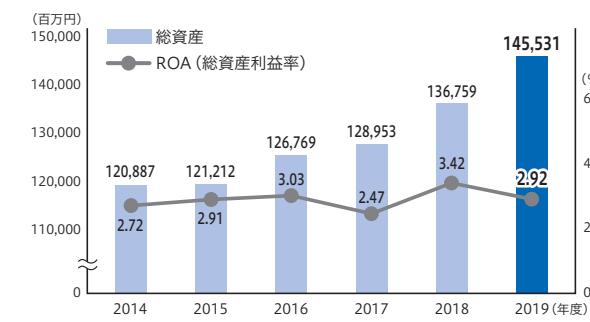
連結経常利益



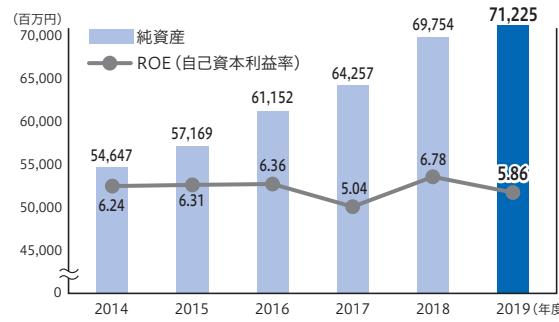
親会社株主に帰属する当期純利益



総資産/ROA(総資産利益率)



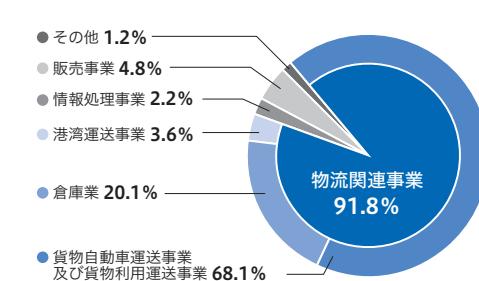
純資産/ROE(自己資本利益率)



事業別連結営業収益

事業別	金額(百万円)	構成比(%)	前期比増減率(%)
物流関連事業	(126,778)	(91.8)	(0.4)
貨物自動車運送事業及び貨物利用運送事業	94,045	68.1	△0.6
倉庫業	27,763	20.1	3.6
港湾運送事業	4,969	3.6	3.2
情報処理事業	(3,064)	(2.2)	(8.0)
販売事業	(6,620)	(4.8)	(△1.5)
その他	(1,704)	(1.2)	(2.3)
合計	138,167	100.0	0.5

事業別連結営業収益構成比



(注)その他欄には、自動車修理業、その他事業の各収入を含めて表示しています。

非財務ハイライト

安全



Gマーク取得事業所
104 事業所
※トナミホールディングスグループ



あんぜん号受診者人数
2,599名
※トナミホールディングスグループ



ドライブレコーダー設置台数
3,924台
※トナミホールディングスグループ



乗務員職新入社員教育受講者数
236名
※トナミ運輸

環境



CO₂ 排出量
79,980t
※トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国



「トナミの森」苗木植樹本数
400本
※植樹・補植含む



使用済みタイヤリサイクル率
74.9%
※トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国



電気リフト導入台数
888台
※トナミホールディングスグループ

社会



障がい者雇用率
2.50%
※トナミ運輸



遠隔診断受診者数
518名 (2018年6月～)
※トナミホールディングスグループ



ペットボトルキャップ寄付数量
約55,840個
※トナミ運輸



布製手づくりマスク寄贈枚数
5,000枚
※トナミホールディングス松寿会

ガバナンス

取締役会の構成

社内取締役 7名
代表取締役社長 1名
専務取締役 2名
取締役 4名

監査役会の構成

社内監査役 2名
社外監査役 2名

コンプライアンス

教育受講率
98.5%
※トナミホールディングスグループ

物流関連事業



特別積合せ貨物運送事業

日本国内外に広がる物流ネットワークを駆使して、価値ある速さを実現します

本州に点在する流通センターと日本国内外に広がる物流ネットワークを駆使し、物流拠点の点と線を効率的に結びます。高速道路網を使った大量輸送から多頻度小口配送までお客様のニーズに迅速に対応します。

トナミ特急便

ユーザビリティに徹したサービスでスピーディーに正確に、大切なお荷物を運びます。

サイズの大小に関わらず、お客様の大切なお荷物を全国どこにでも。また、医薬品や美術品、OA機器などの特殊輸送も確実に。高速ネットワークを使って円滑にお届けします。

パンサー宅配便

おくる人とおくられる人の思いをFace to Faceで運びます。

どんなお荷物でもお客様の心がこめられているように、一つひとつのお荷物を誠意を持ってお届けしています。全国に広がるトナミのネットワークがおくる人とおくられる人の気持ちをつなぎ、心豊かな暮らしをお手伝いしています。

トナミチャーター便

国内拠点を連携する物流情報ネットワークで効率的な貸切便を提供します。

大量幹線輸送から近距離配送まであらゆる物流シーンに活用して頂けるサービスです。

JITBOX チャーター便

BOX単位のチャーター便で集荷・納品・流通在庫削減を強力にサポートします。

BOXはお客様の貸切り。BOX単位で受け付けし、配達するため、コストを抑えられます。積み付けた後はお届け先まで一切BOXは開きませんので破損、口割れの心配もいりません。

ローリー輸送

日本の基幹産業である、自動車・電機・化学工業の原料・製品の輸送を行っています。北は北海道、南は九州鹿児島までシェアは全国に渡っています。

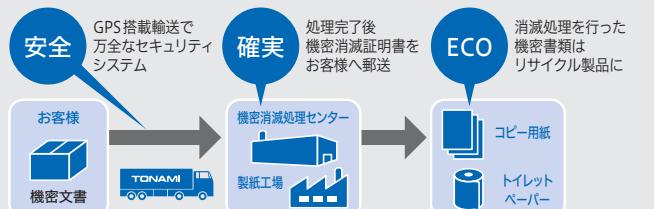
コンビニ配送

大手コンビニエンスチェーンの配送を請け負っています。

エコロックシステム便

エコロックシステムを発展的にリニューアルした「エコロックシステム便」は1個口からでもセキュリティ(GPS機能搭載)を付加した輸送モードにより、回収と機密消滅ができます。

オフィスで不要になった重要書類を、安全・確実に回収・消滅いたします。



3PL(サードパーティロジスティクス)事業

お客様の物流機能の効率化や高度化を目的とした包括的なアウトソーシングサービスです

輸送・保管など基本的な機能のほか、情報システムを活用した受発注・在庫管理・仕分け・梱包など関連する業務を提供しています。アセット型はもとより、自社保有の資産にとらわれないノンアセット提案も行っています。社会全体が環境に対する関心が高まる中、省エネ設備・技術を導入した物流施設を増やし、環境負荷を低減する取り組みを進めています。

お客様に最適な物流環境を提案するトナミのトータルマネジメント

コンサルティング機能

物流の現場を調査、分析し、最適な物流環境を提案します。

豊富な実績とノウハウを持つコンサルタントが、物量、立地状況、輸送ルートなどを調査、分析し、最適な物流環境を提案します。

業務運営機能

入出庫や保管の業務などを、最適に運営します。

多種多様な物流情報システムを組み合わせ、物流業務の効率化をサポートしています。

物流現場のオペレーションも当社の経験豊富な技術スタッフが行います。

物流ネットワーク機能

国内外のネットワークを駆使し、物流の最適化を図ります。

国内に展開する流通センターと、国内外に広がる物流ネットワークを駆使し、お客様のニーズに迅速に対応できる最適な物流ネットワークを提供します。

情報システム機能

お客様のニーズに合わせて、最適なシステムを提供します。

物流に関するあらゆるノウハウをシステム化し、ITを活用することにより、物流に関わるすべての機能をコントロールし、最適なシステムを構築します。

各種倉庫

全国に常温倉庫だけでなく、定温・定湿倉庫、燻蒸倉庫など様々な機能を備えた倉庫を保有しています。

流通加工

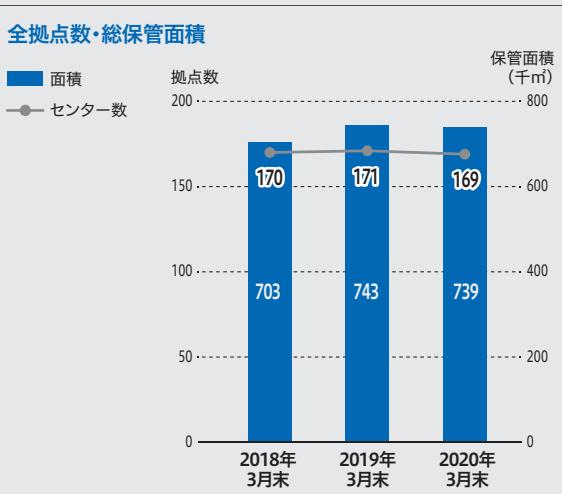
多品種小ロット商品の仕分け、検査、検品、値付け、セット組などお客様のニーズにきめ細かく対応します。

トランクルーム

住居の新築・改装、転勤時などの家財を大事に保管します。さらにご不要になった家財の廃棄をはじめ、保管場所や処分期日管理にお困りの書類をお預かりします。

流通センター拠点数・保管面積推移

グループ全体の拠点数は、169拠点、総保管面積は739千m²。関東・東海・関西エリアの物流機能の充実強化に取り組んでいます。





国際物流事業

陸・海・空に広がる国内・国際輸送ネットワークで確実に配送します

経済やビジネスのグローバル化に合わせて世界各国へお荷物を配送する機会も珍しくなくなっている今日、国内外での関連会社や代理店との提携により地球規模のネットワークを張り巡らせています。国外へも国内と同様に安全・確実・迅速な配達を実現しています。

国際航空輸送

国内と同様に安全・確実・迅速な配達を実現しています。

国際貨物を専門に取り扱う事業所として、関東・北陸・関西の各々に国際支店を設置し、空港での通関業務サービスを含め、有力フォワーダーとの提携により輸出・輸入問わず最適な輸送サービスを提供しています。また、輸出入業務に精通したスタッフで万全の体制を整えています。

〈業務内容〉

- 輸出入通関業務
- 車両輸出入(在庫管理から輸出の手続き、船積作業まで)
- 書類作成・申請取得業務
- 檢査代行及び手続き業務
- 貨物会場保険代行業務
- 貨物の特性に合わせた梱包
- 特殊貨物(規格外の大物貨物やプラント)の取扱
- 海外展示会

国際海上輸送

一般コンテナ輸送を中心に通関から船積までの一貫した海上輸送サービスを提供します。通関業務サービスと港湾最大手会社、ならびに大手フォワーダー会社との業務提携により、輸出・輸入問わず高品質な輸送サービスを提供しています。

AEO認定通関業者認定取得

AEO認定通関業者としてのコンプライアンスを重視したレベルの高い通関業務体制により安心してご利用頂ける通関業務を行っています。



国内航空事業

航空機とトラックのスピーディー輸送で、“今日中に届けたい”を実現します

航空輸送と陸上輸送との絶妙なコンビネーションで、よりスピーディーにお届けします。さらに当日配達を可能にし、スピード時代の物流を先駆けています。

トナミ航空便

航空機とトラック輸送のコンビネーションで物流シーンのシナジー効果を発揮します。空のネットワークとトラックによる陸上輸送のシナジー効果で国内当日配達も可能です。

引越事業

人の笑顔、家族の幸福を全国どこへでも運びます

全国どこへでもお客様の「新生活」を丁寧に運びます。引越優良事業者として「引越安心マーク」を取得しており、お客様の立場に立って品質第一を心がけています。

オフィスの引越

オフィスや店舗、工場をまるごとお引越。業務に支障なく、移転業務が完了します。

住まいの引越

荷造りから輸送まで、丁寧・確実に、家族の大切なお荷物を思い出・幸福とともに運びます。

産業廃棄物の収集運搬

環境関連法に対応した物流

環境の保全への対応は、地球規模で求められています。社会的規範や企業倫理(モラル)を守ることも「コンプライアンス」に含まれ、環境関連法への対応は企業経営の観点から不可欠です。

環境関連法を遵守し、環境省広域認定制度のコンサルティングから運用に関して最適な物流を提案します。

ミニ引越

進学、就職、単身赴任のお引越はおまかせください。新生活のスタートを真心込めてバックアップします。

その他のサービス

会場の設営、精密機器の運搬、重量物の運搬、商品の陳列、仕分作業なども行います。

通運事業

地球環境にやさしいコンテナ輸送でCO₂を削減します

JRコンテナ輸送のモーダルシフトを推進しており、トラック輸送の削減による環境負荷低減と同時に、交通事故防止や長距離運行などの効率化につなげています。

■モーダルシフトの仕組み



ロジスティクスサポート事業

24時間365日、お客様の「目」と「耳」になり、物流を監視・管理し高品質な配送を提供します

お客様の「24時間365日の物流ニーズ」に対応するために、既存の全国物流ネットワークとコンピュータシステムを融合させた新しい物流サービスです。マルチベンダー型物流管理システムにより、配送状況や在庫状況をリアルタイムで共有化を可能にし、顧客ニーズにマッチした物流の最適化を図ります。

〈業務内容〉

- 全国に配置した専用拠点とコンピュータシステムにより、24時間365日対応の配送が可能です。
- 専用システムによりお客様がリアルタイムに必要な物流情報を取得、確認できます。
- 配送工程・入出庫工程などすべての工程に対するレポート機能が充実しています。
- リアルタイムでのデータ更新、ならびに照会が可能です。



情報処理事業



物流業務の効率化とサービス向上をめざします

業界に先駆けて物流のIT化に取り組み、長年培ってきた確かな情報システム技術で物流ネットワークを管理しています。

■システム開発

戦略的なビジネスを実現するソリューションシステムを提供します。

■サーバーの集中管理システム

セキュリティ強化や基幹システムとのスムーズな連携を実現します。

■貨物照会システム

「お問い合わせNo.」を入力するだけで、貨物の所在地を時間や場所に関係なくリアルタイムに検索できます。

■配車支援システム

ドライバーの携帯端末から入力された集荷から配達までの情報をもとに、刻一刻と変化する配送状況や集荷状況をリアルタイムに表示します。

■多種多様なデータ通信システム

取引先企業様とのEDI(データ交換)に際して、多種多様な通信設備を準備しています。

■自社開発の運用管理システム

独自の運用管理システムを構築し、日次処理はスタートからエンドまで自動処理。取引先企業様とのEDI(データ交換)に際しての送受信はすべて自動化されています。

■ハードウエア販売

オフィスはもちろん、あらゆるワークシーンに機能美を実現します。

■保守サービス

丁寧なアフターフォローと迅速な対応で安心を提供します。

■情報分析サービス

コンピュータに関するトータルな運用管理サービスを提供します。

■インターネットサービスの展開

「CORAL NET」の運営と、新しいサービスやコンテンツの企画・立案を行っています。

その他



販売事業



お客様のニーズに幅広いサービスと商品を提供します

■北陸の名産品

富山、石川、福井の北陸3県の名産品を地元の味と価格でお届けします。

■タイヤ販売

乗用車・軽自動車のタイヤをはじめ、バス・トラック用のタイヤ、産業用の特殊大型タイヤまで、幅広くタイヤ・ホイールを取り扱っています。

■各種燃料の販売及び宅配

灯油の宅配をはじめ、ホームタンクの点検や洗浄、タンク取り替え工事も行っています。その他、軽油・重油などの燃料や、季節ごとに使う電気製品なども取り扱っています。

■各種保険

日常生活の安心・安全から企業のリスクヘッジまで、損害保険・生命保険を活用し、万に備えるための手段としての保険商品を用意しています。

■トナミ運輸バドミントン部オフィシャルショップ

トナミ運輸バドミントン部員も使用している商品が購入できるショップです。

■工業用品

材料販売から施工に至るまで建築・土木関連、各種工場設備の新設・改修時や物流関連の効率化を、提案から責任施工に至るまで一括して対応しています。

■旅行プランの提供

(株)JTBの代理店として、ビジネス出張から団体旅行まで、様々な目的に対応した旅行プラン、サービスを提供しています。

食品製造

食品の安心・安全・多様化・安定供給について取り組み、地域の皆様の食生活の向上に貢献しています

■純氷製造

オールステンレスの充実した設備と徹底した品質管理で、安心と安全に裏付けられたおいしい氷を生産しています。また、原水をアルカリイオン水に整水して製氷し、お客様の健康向上に取り組んでいます。

自動化された“かち割り氷”製造ラインにより、多品種・小ロットの生産を可能にしています。

■食品保管

冷凍・冷蔵・水煮・乾燥・調理など、多彩な商品を取り扱っています。また、お客様の多種多様なニーズに対応してPBブランドの立ち上げ・デザインなどを提案し、商品の共同開発も行っています。

環境関連

地球と人にやさしい、循環型社会をめざして様々な活動を推進しています

限りある資源を大切にし、廃棄物の発生をおさえ、資源を循環的に利用する「循環型社会」をめざす取り組みは、現在企業の業種や規模を問わず求められている課題です。この課題に当社グループは物流で応え、リサイクルと循環型社会の形成に貢献しています。

エネルギー・資源リサイクルシステム

アルミ系廃棄物から、水素エネルギーをはじめとする有用な資源を回収する技術を有しており、システム開発・装置販売を行っています。

アルミを用いたCO₂フリー水素が永続的な地球環境の保全に貢献し来たる水素社会の一翼を担います。

トナミホールディングスCSR重要課題特定のプロセス



トナミホールディングス2020年度CSRの取り組み

項目	重要課題	具体的取り組み	関連するSDGs
安全	輸送の安全確保	安全管理体制の整備 ドライバーの安全教育 安全確保のための設備導入 危険予知訓練の実施 安全性優良事業所の取得推進	3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくり
	物流品質向上	物流品質マイスター制度 段ボール養生板の導入 モニタリングカメラの導入 物流品質向上のための社員への教育	8 働きがいも経済成長 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくり
環境	環境マネジメント	環境方針の制定 ISO14001の取得 環境負荷軽減への取り組み グリーン経営認証の取得	6 安全な水とトイレを世界中に 7 エネルギーをみんなにそしてグリーンに 8 働きがいも経済成長
	地球温暖化防止・大気汚染防止	CO ₂ 排出量削減に向けた取り組み 省エネ設備の導入 環境に優しいトラックの導入 エコドライブの実践 「トナミの森」CO ₂ 排出量削減・里山再生プロジェクト	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくり 12 つくる責任つかう責任
	リサイクルの推進	使用済みタイヤのリサイクル 使用済みコピー用紙・ラップ・段ボールのリサイクル 廃アルミニのリサイクル	13 気候変動に具体的な対策を 15 他の生きものも守ろう 17 パートナーシップで目標を達成しよう
社会	地域社会とのコミュニケーション	新型コロナウイルス感染症対策への取り組み 災害義援金拠出 交通遺児支援募金 福祉支援活動 ペットボトルキャップの収集 使用済み切手の収集 ランドセル寄贈 募金型自動販売機 こども110番の家 地域清掃活動	1 貧困をなくす 3 すべての人に健康と福祉を 4 賢い教育をみんなに 5 ジンデード平等を実現しよう 7 エネルギーをみんなにそしてグリーンに 8 働きがいも経済成長 11 住み続けられるまちづくり
	働きやすい職場づくり	ホワイト物流推進運動 健康経営の推進 女性活躍支援 メンター制度	4 賢い教育をみんなに 5 ジンデード平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長 10 人間の不平等をなくす
ガバナンス	コーポレートガバナンスの強化	コーポレートガバナンスの強化 内部統制システムの整備	16 平和と公正をすべての人に 17 パートナーシップで目標を達成しよう
	コンプライアンスの推進	コンプライアンス・リスク管理体制の整備 相談窓口の設置	



輸送の安全確保

トナミホールディングスグループの交通事故防止への取り組みは、事業の中だけでなく地域社会にまで展開し、安全な社会づくりに貢献していきたいと考えています。



輸送の安全に関する基本的な方針

輸送の安全に関する基本的な方針を設定しています。

- 1** 当社の安全衛生は、従業員の生活と安全を守ることを基本とする
- 2** 常に安全・確実・迅速なサービスを提供する
- 3** 交通事故のない社会を作り上げるための牽引車となるべき行動を取る
- 4** あらゆる機会を利用し、地域の安全推進企業として社会に信頼されるよう模範行動に徹する

COLUMN

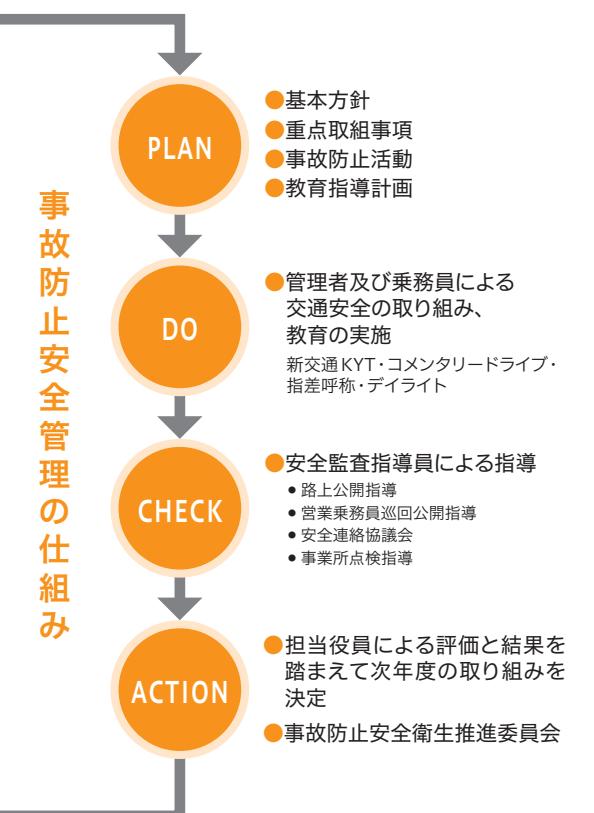
運転適性診断車「あんぜん号」

営業用車両の管理については、日常的に法令を遵守することを基本に、ドライバーとしての適格性を確保・安全運行に努めることを責務として業務に取り組んでいます。その一環として、あんぜん号の事業所巡回による運転適性診断指導を行っています。今後とも、ドライバーの一層の安全適性の確保に努め、運送事業者としての社会的責任を担っていきます。また、地域の交通安全指導にも貢献していきます。



安全管理体制

交通事故防止や労働災害防止などを目標として、事故防止安全衛生推進委員会組織を設置し、常に多様な課題に対して討議を行いながら、安全面・衛生面の向上に取り組んでいます。また、交通安全の取り組みは、PDCAサイクルを回し、継続的な改善を実施することによって、次年度の取り組みにつなげています。



安全管理強化システム

事故防止の強化を図るために、乗務員一人ひとりに3段階評価を実施し、結果に応じた指導を行う「安全管理強化システム」を推進しています。

- 1** 社内規則の遵守状況点検
- 2** 運転指導票の発行
- 3** 指導教育

新入ドライバーの安全教育

ドライバーの新入社員安全教育として、自動車学校の教習コースを使い安全指導員によるトラック運転技術、整備検査員による車両点検などの安全教育研修を行っています。研修では、トラックドライバーとしての営業知識や任務についての講義のほか、国土交通省の教育指針に合わせ、トラックの特性による死角や内輪差、夜間の目測・色別の体験教育や健康管理など、プロドライバーとしての自覚と事故の未然防止のための運転行動及び安全運転のための留意点などについて教育しています。また、性格検査結果による運転指導やアンケートによるメンタルケアにも取り組んでいます。



家族交通安全ポスター

トナミ運輸労働組合では、事故防止の取り組みとして、組合員の家族のみさんに交通安全に関するポスターを募集しました。優秀作品は常にドライバーの目に留まるところに掲示しています。

今後も家族の願いを心に刻み、一層の交通事故防止に努めます。



通信型デジタルタコグラフを導入

トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸
中国の運行車約1,000台にドライブレコーダー機能とETC(自動料金収受システム)車載器を一体化した通信型のデジタルタコグラフ(運行記録計)を搭載し、2019年4月より運用を開始しました。



通信型のデジタコを導入したことにより、①安全運行の強化、②労働時間管理の高度化、③省燃費運転の推進、④顧客への迅速対応によるサービス品質の向上、⑤危機管理の強化の5点の効果を見込んでいます。

危険予知訓練

ドライバーの危険感受性を高めることを目的として、日々の出発前点呼時にKYT(危険予知訓練)を行っています。運転中にひそむ危険要因とそれを引き起こす現象を、写真を使って指差唱和・指差呼称で確認し、考え合いながら、行動する前に解決できるよう訓練しています。



ドライブレコーダーの導入

ドライブレコーダーの導入を推進しており、グループ全社で約3,900台の運行車や集配車に取り付けています。ドライブレコーダーは事故処理時だけではなく、管理者がドライバーの運転画像をチェックして安全運転指導を行い、交通事故防止のために役立てています。



バックカメラの導入

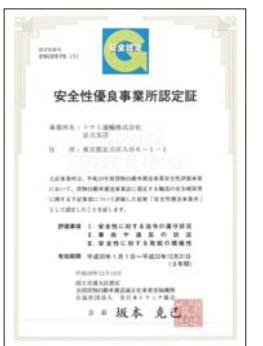
主に集配車を中心にバックカメラの取り付けを推進しており、現在までに約1,500台以上のトラックに設置を完了しています。バックカメラを設置することで、後方の安全を明確に確認することが可能となり、後方の追突事故を減少させることができました。

デジタル式運行記録計、ドライブレコーダーやバックカメラの導入により、ドライバーの安全運転をサポートし、さらなる安全な社会づくりに貢献していきます。



安全性優良事業所(Gマーク)

公益社団法人全日本トラック協会が認定する、安全性優良事業所(Gマーク)の取得を推進しています。Gマークを取得することにより、お客様に安心して当社グループを利用して頂く基準となるとともに、トナミホールディングスグループ全体の安全性の向上に対する意識を高めるための環境整備を図るという目的があります。今後はさらにこの取り組みを推進し、より高い安全性を追求していきます。



安全性優良事業所認定証

COLUMN

ハイウェイレディ

トナミ運輸は、富山県高速道路交通安全協議会の委託を受けて、当社社員をハイウェイレディとして派遣し、高速道路を利用するドライバーなどの交通安全意識の向上を目的に、富山県内のインター・チェンジやサービスエリアで安全運転を呼びかけています。



小矢部川サービスエリアにて交通事故撲滅運動実施

物流品質向上

トナミ運輸は、総合物流企业として社会に寄与し、常に安全、確実、迅速なサービスを提供し、顧客ニーズに対応しています。



物流品質マイスター制度

当社独自の「物流・安心品質づくり」のノウハウの継承を促進する有効な手段として、物流業界では類を見ないものであり、輸送品質のさらなる向上をめざし「お客様の高い評価と信頼を勝ちうる品質の実現」を目的として、2009年10月から制度を導入し、2019年度は7名のマイスターを認定しました。過去5年間の実績として商品事故を約30%削減することにも成功し、その他、新たな「物流品質向上」に向けた取り組みの先行導入を検証する役目も担っています。

今後も人材育成の一環として、優れた技能・スキル・マネジメント力を持った社員の育成を促進し、お客様の立場を一層重視した物流品質を安定的・継続的にお届けする「組織づくり」をめざしていきます。

活動内容

- ①管轄主管店舗の現場点検
- ②物流品質マイスター会議開催
- ③物流品質マイスターニュースの発行
- ④荷主品質会議に出席
- ⑤主管支店主催の担当者会議に出席
- ⑥取り組み先行導入の検証実験



2019年度認定の物流品質マイスター

段ボール養生板の導入

トナミ運輸では、ホーム上のパレット商品やその他保管中の商品を守るため、養生板を使用しています。養生板は2010年に導入し、当初は横90cm×60cm程のベニヤ板を2枚つなぎ合わ



せたものが主流でした。その後、より使いやすいプラスチック養生板を全店展開し、2020年2月に黄色の段ボール製養生板を導入しました。警戒色として目立つため、今まで以上に保管時の商品に対する社員の意識が高くなり、併せて商品への取り扱いが丁寧になりました。

また、段ボール製であり、環境にも配慮した商品事故防止アイテムとして導入しました。

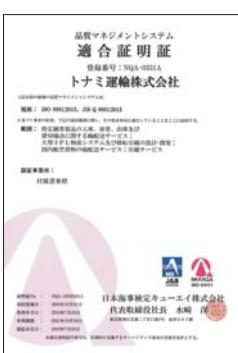
プラットホーム上モニタリングカメラ導入

路線店所49店舗の内、43店舗にネットワーク型のモニタリングカメラを導入しています。このカメラは、本社、管轄する主管支店、物流品質マイスターからも遠隔監視、指導ができ、トラックへの積み込みや荷卸し、ホーム上の商品保管状況、荷扱いの様子(特に深夜・早朝)を常時モニタリングし、社員の安全作業指導に役立てる独自の取り組みをしています。

物流品質向上のための社員への教育

物流サービスの提供にあたっては、効率化を図りさらにより高い品質をめざし、事業が絶えず成長を続けるため、品質方針に基づいて行動します。“会社主導”的な取り組みから“現場が主役”的な取り組みへ社員一人ひとりが自ら考え、行動する生きた組織を目指し、日々社員の意識向上のための取り組みを促進しています。

また、トナミ運輸全事業所において「トナミ・クオリティ10」を展開し、さらなる物流品質の向上をめざしています。



ISO9001適合証明書



太陽光発電所(トナミ運輸 富山支店)

環境マネジメント

私たちは、安全で確実・迅速な輸送サービスをお客様に提供し、ご満足頂くことが

第一の使命であると考えます。

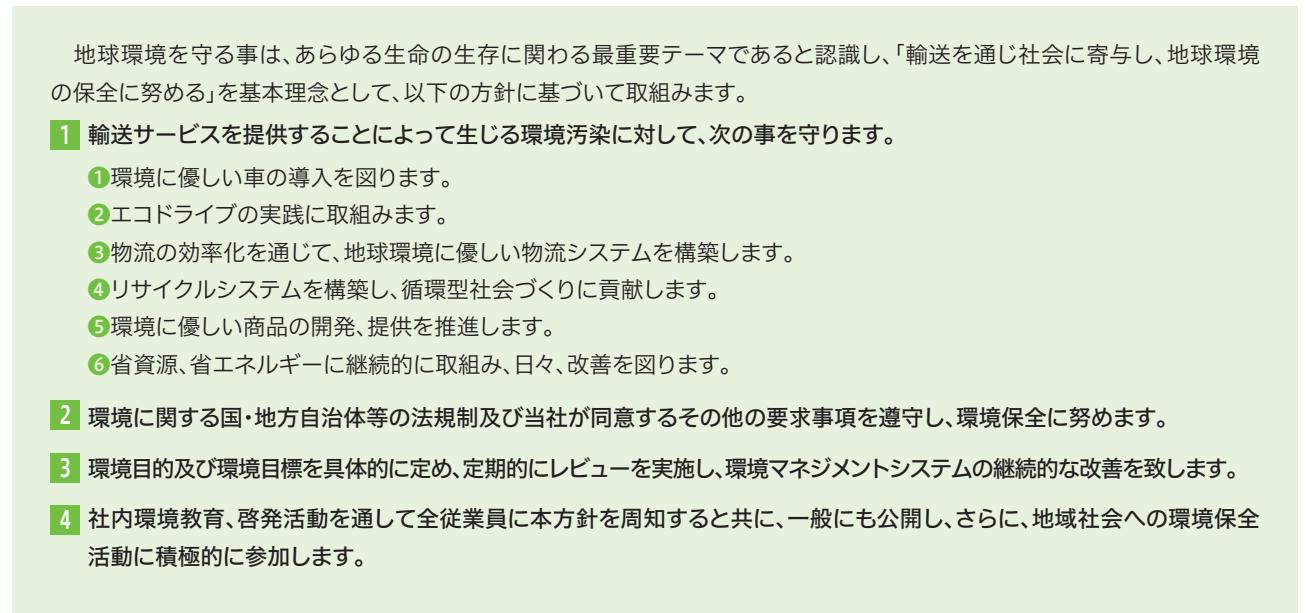
同時に私たちを取り巻く環境問題についても、

私たちにふさわしい責任を果たすことをめざします。



環境方針

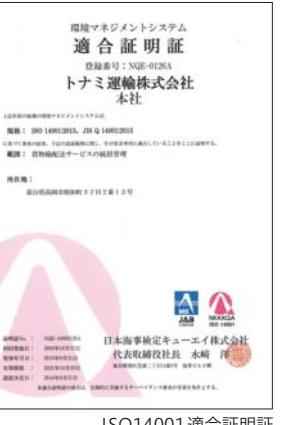
トナミ運輸は、環境活動を推進するための環境マネジメントに取り組んでいます。次の環境方針を定め、様々な活動に目標を持ち、結果を見直し、継続的改善に向けて、体制強化に努めています。



ISO14001 (環境マネジメントシステム)の活動

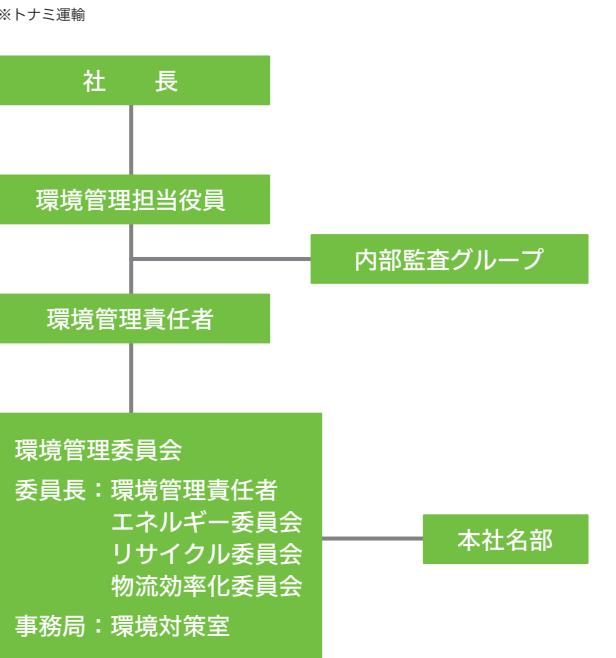
トナミ運輸は、2003年10月、本社において環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得しました。以来、毎年の定期審査と3年ごとの更新審査において、基準に適合していることを認証されています。

今後も環境負荷軽減のための目標を設定し、1.Plan(計画) 2.Do(実行) 3.Check(点検) 4.Action(見直し)を繰り返すことによって、その達成に向けた取り組みを実践し、継続的改善を図っていきます。



ISO14001適合証明証

環境管理組織図



環境負荷軽減への取り組み

当社グループは、「Do Eco!」をスローガンに社員一人ひとりが日常、気軽にできる5つの取り組みを設定しています。

5つの取り組み

- ①省電力の推進
- ②コピー用紙使用量の削減
- ③ゴミ分別の徹底
- ④安全な走行を心掛けよう
- ⑤アイドリングストップの実施



Do Eco! ポスター

グリーン経営認証の取得状況

当社グループの物流事業会社7社は、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団が運営しているグリーン経営認証制度において適合していることを認証されています。今後もグリーン経営推進マニュアルに基づきエコドライブや低公害車の導入などの取り組みを実施しながら、物流における環境保全の実効性向上につなげていきます。



グリーン経営認証登録証

グリーン経営認証取得会社

- | | |
|-----------|------------|
| ■ トナミ運輸 | ■ 京神倉庫 |
| 富山支店 | 葛西支店 |
| 南大阪支店 | 久我山支店 |
| ■ 福井トナミ運輸 | ■ 北海道トナミ運輸 |
| 敦賀本社 | 本社営業所 |
| ■ 北陸トナミ運輸 | 東北営業所 |
| 本社営業所 | 江別営業所 |
| ■ 阿南自動車 | 苫小牧営業所 |
| 本社 | 帯広事業所 |
| 長野営業所 | 岩手営業所 |
| 豊田営業所 | 飯田支店 |
| 松本支店 | |
| 諏訪営業所 | |
| 伊那支店 | |
| 飯田支店 | |

地球温暖化防止・大気汚染防止

CO₂などを中心とする温室効果ガスの増加は、地球温暖化に大きく影響します。低公害車の導入や、輸送の効率化、各種省エネ設備の導入など、温室効果ガス削減のための取り組みを積極的に進めています。



CO₂排出量の削減に向けて

トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国は、エコドライブの実践や低公害車や省エネ設備の導入など環境負荷低減への取り組みを進めた結果、2019年度のCO₂総排出量は、96,513t-CO₂となりました。

また、エネルギー使用の合理化に関する法律(省エネ法)において特定貨物輸送事業者として、貨物輸送のために使用し

た燃料から発生するCO₂総排出量を2021年度までに2016年度比で5.5%削減することを目標にし、4つの項目に取り組んでいます。その結果、2019年度のCO₂総排出量は79,980t-CO₂となり、2016年度の82,700t-CO₂と比較して約3.3%削減することができました。

■2014～2019年度CO₂排出量(トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国全事業所と全車両(リフト含む)対象)

使用エネルギー	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2016年度比
軽油	85,785	84,459	85,130	85,432	84,351	81,250	95.4%
ガソリン	1,131	991	1,083	947	798	726	67.0%
A重油	247	263	248	282	231	217	87.5%
LPG(リフト)	762	729	788	749	764	686	87.1%
CNG	2,456	2,502	2,549	2,470	2,307	1,913	75.0%
LPG(湯沸)	360	324	299	312	297	286	95.7%
灯油	229	239	271	187	183	147	54.2%
都市ガス	38	39	34	30	30	28	82.4%
電力	13,128	12,323	12,399	11,825	11,806	11,260	90.8%
CO ₂ 総排出量	104,136	101,868	102,802	102,232	100,765	96,513	93.9%
そのうち輸送に伴うCO ₂ 総排出量	84,400	82,000	82,700	82,500	81,400	79,980	96.7%

※温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧(2010.3改正)参照

■2017～2021年度の取り組み(特定貨物輸送事業者として)

取り組み項目	期待効果	進捗状況(2019年度)
エコドライブの実践 全車両/燃費3%の向上	原単位3.0%向上 (2,054t-CO ₂ 削減)	デジタル式運行記録計の活用や エコドライブ教育などを継続的に実施中
輸配送コースの見直し 実車率の向上 (運行車1運行5km、集配車10km/月)	原単位1.0%向上 (678t-CO ₂ 削減)	車両の走行キロ削減等の効率化を推進中
輸送効率の改善 積載率1%の向上	原単位1.0%向上 (471t-CO ₂ 削減)	車両積載率94.8% (2018年度比2.0%低下)
モーダルシフトの実施 長距離運行系統 (東京～広島)の鉄道コンテナ化	原単位0.5%向上 (500t-CO ₂ 削減)	鉄道によるコンテナ輸送継続実施中

各種省エネ設備の導入

太陽光発電所稼働

温室効果ガス削減の取り組みを積極的に進めており、その一環として太陽光発電事業を開始しました。

2020年5月には富山県南砺市に保有する遊休地を利用し、最大出力718.2kw、年間予想発電量737,885kwhの発電所を稼働させました。

今後2021年2月までに計21カ所の物流施設の屋根に太陽光パネルを設置し稼働させる予定です。

※すべての太陽光発電が稼働したとき

●一般家庭の平均年間電力消費量に置き換えると

8,117,345kwh ÷ 4,892kwh/年※ = 約1,659世帯分

●想定年間CO₂削減量

8,117,345kwh × 0.4175kg-CO₂※ = 約3,388,991kg-CO₂

●想定年間石油削減量

8,117,345kwh × 0.227ℓ/kwh※ = 約1,842,637ℓ/年

※ 太陽光発電協会 表示ガイドライン(2020年度)より

今後の設置予定(順次稼働)

施設名	予定年月
富山支店※1、黒部物流センター※1、金沢流通センター※1、京阪流通センター※1	2020年 9月(済)
能登支店※1、熊谷支店※1、新潟支店※1	2020年10月
黒部営業所※1、小杉流通センター※1、川崎支店※1、本社※2、大阪中央支店※1	2020年11月
富山中央支店※1、富山支店※3	2020年12月
富士支店※1、久喜支店※1	2021年 1月
相模支店※1、浦和支店※1、神戸支店※1、加古川支店※1	2021年 2月

※1 トナミ運輸 ※2 トナミ運輸信越 ※3 京神倉庫

屋上緑化設備

節電対策の1つとして、トナミ運輸川崎支店の睡眠室棟に屋上緑化を採用しました。夏場は外からの熱流入を81%カットし、冬場は室内からの熱放出を45%カットできる点が特徴となっています。このためエアコンの使用量が減り、年間2,600kWhの節電と1.8t-CO₂排出量の削減をしています。



日本初の大型LNGトラックの走行試験

トナミ運輸では、一般財団法人環境優良車普及機構といすゞ自動車株式会社が推進する大型LNGトラックに関する実証走行に2018年6月から引き続き協力をしています。

燃料のLNG(液化天然ガス)は二酸化炭素や窒素酸化物の排出が少なく、運輸業界が直面する環境課題解決への貢献が期待されています。持続可能な次世代車両として注目されているLNG車の社会実装をめざし、今後も継続して取り組んでいきます。



大型LNGトラック

環境にやさしいトラックの導入

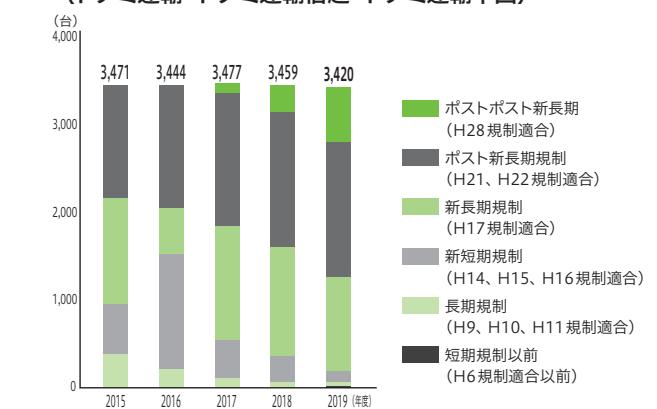
輸送に関わるNOx、PMなどの大気汚染物質削減を図るために、環境に配慮したトラックを導入しています。2019年度はトナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国は、新たに321台を導入し、そのうちハイブリッド車は19台導入しました。



ハイブリッド自動車

トラック保有実績の推移

(トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国)



エコドライブの実践

エコドライブとは、一言で言うと「環境に配慮した経済運転」のことです。やさしい発進を心がけたり、無駄なアイドリングを止めるなどを行って燃料の節約に努め、地球温暖化に大きな影響を与えるCO₂の排出量を減らす運転を実践しています。

エコドライブ推進の取り組み

エコドライブは、「地球環境にやさしい」「燃料費の節約」「安全運転につながる」「車両にやさしい」と、一石四鳥であることをドライバーの一人ひとりが認識し、その結果は、社内表彰制度で、エコドライブ成績優秀者を表彰しています。



駐車時はアイドリングストップ

アイドリングストップワイヤー(キー抜きロープ)をすべての集配ドライバーに携帯させ、短時間車を離れる際も、必ずエンジンをストップするようにしています。北陸トナミ運輸では、ドライバー一人ひとりのアイドリング時間を管理し、意識付けを行うとともに優秀者を表彰しています。

エコドライブ教育

トナミ運輸は、ドライバー研修や新入社員教育時に、省燃費運転、自動車の適切な点検・整備の仕方、省燃費運転の注意事項について周知徹底を図っています。また、社会活動の要請を受け、『エコドライブと交通安全』について講師を派遣し、地域社会のエコドライブへの取り組みに協力しています。

「トナミの森」CO₂排出量削減・里山再生プロジェクト



「トナミの森」CO₂排出量削減・里山再生プロジェクト

トナミ運輸労働組合では、組合結成70周年を迎えたことを機に、2016年より森づくり活動を通じて、CO₂削減による地球温暖化及び荒廃しつつある里山再生に貢献する活動を行っています。初年度に苗木250本を植栽し、それを維持するよう、定期的に捕植や除草、水やりなどを実施しています。2019年7月20日には役員86名により、桜50本、コナラ10本の捕植と草刈りなどを行いました。今後も役員が一丸となって活動を継続し、将来、花と緑にあふれ、そして意図するCO₂削減と里山再生を果たすことができるよう、社会貢献活動に全力を注いで取り組んでいきます。

COMMENT

参加者コメント



CO₂削減による地球温暖化防止と里山再生の貢献活動であるトナミの森プロジェクトも5年目となりました。

トナミ運輸 関西センター
佐藤 真由子

私たちが植えた苗木ですが、猛暑にも負けずに立派に成長をしており、生命の力強さを感じることができました。今後も地域の皆様と協力して、枯れてしまったところへの補植や、周辺の草刈り活動を継続していきたいと思います。

リサイクルの推進

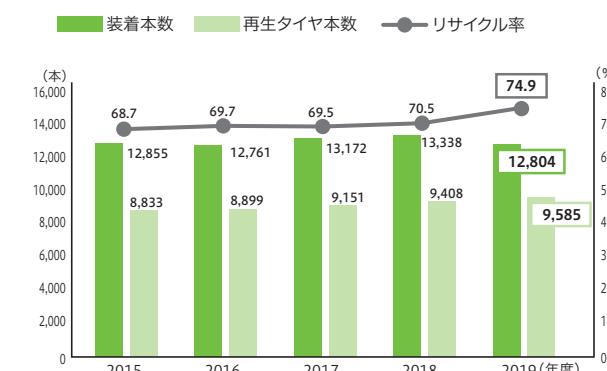
廃棄物削減に向けて従来の取り組みを見直し、継続的改善に努め、ゴミ減量化とリサイクルの推進を行っています。



使用済みタイヤのリサイクル

資源の有効利用を図るため、使用済みタイヤはすべて再生タイヤメーカーに引き取ってもらっています。また、積極的に再生タイヤを使用しています。

■ 使用済みタイヤのリサイクル実績の推移 (トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国)



廃アルミのリサイクル

親子環境教室

2019年8月に高岡市が開催した親子環境教室において、アルハイテックが小学生親子に対してアルミを使った発電の仕組みについて授業を行いました。アルミを化学反応させて発電する実験では、児童らが目を凝らして興味深く観察をし、発電した電気で小型の扇風機が回ると大きな歓声があがりました。授業を通じて、こどもたちに環境にやさしいエネルギーへの理解を深めてもらいました。



福井県環境フェアへの出展

アルハイテックは2019年11月に開催された福井県の環境フェアに出展しました。ブースではアルミから水素が発生する仕組みの説明や、小型水素発生装置「エ小僧」から発生させた水素を利用して、こどもたちに燃料電池ミニカーを操作してもらいました。環境フェアを通じて、福井の皆様に未来のエネルギーであるアルミ水素をピーアールしました。

北陸アルミ水素将来ビジョン進捗報告会

2019年12月にアルハイテックやトナミホールディングスが参加する「北陸アルミ水素将来ビジョン検討会議」では、2018年に発表した北陸アルミ水素将来ビジョンの進捗報告会を行いました。アルミ水素ロードマップに示された分野別の進捗として、地域社会分野における普及啓発活動、産業分野における実証調査などの詳細を発表しました。北陸地域はアルミ系廃棄物やアルミ関連工場が集積した地域であり、地域社会・文化・教育環境などにおける地域の強みが発揮できると締めくくりました。





地域社会とのコミュニケーション

福祉施設への支援活動や次世代育成など、
様々な地域活動に参加し、社会に貢献しています。



新型コロナウイルス感染症対策への取り組み

感染拡大防止策

- 「新型コロナウイルス感染症対策マニュアル・ハンドブック」の配布
- 手洗い・うがい・手指消毒・咳エチケットの実施
- マスク着用の指示
- 換気の徹底(毎日、一斉換気時間を設定)
- 消毒清掃の実施
- 日常行動自粛指示
- 公共交通機関利用者への通勤手段の見直し(時差出勤の実施、最寄り事業所での勤務)
- 出張、会議、研修の自粛、テレビ会議の実施
- テレワークの実施
- 体調不良時の対応の徹底(社員全員の検温実施と健康状態の確認)
- 感染拡大防止を目的とした臨時休校への対応
(小学生以下の子・特別支援学校に通学する子の臨時休校に伴い休務が必要な社員には特別休暇を付与)

マスクの寄贈

一般財団法人トナミホールディングス松寿会では、福祉施設などに布製手づくりマスクの寄贈を行いました。

- 寄贈枚数 5,000枚
- 寄贈団体 23カ所

特別養護老人ホーム 藤園苑／社会福祉法人 伏木会／社会福祉法人 早川福祉会／社会福祉法人 あかね会／社会福祉法人 手をつなぐ高岡／社会福祉法人 射水万葉会／特定非営利活動法人 むげん／社会福祉法人 たかおか万葉福祉会／社会福祉法人 小杉福祉会／はとの会／さわらび／人形劇団どんぐりコロコロ／ボランティア西条／特定非営利活動法人 買物くらし応援団／社会福祉法人 秀愛会／特定非営利活動法人 ワークホーム悠久／社会福祉法人 大門福祉会／井上小学校区 学童保育虹の家／井上小学校区 学童保育 レインボー／井上小学校区 学童保育 ないろ／太白台小学校区 学童保育 もりもりくらぶ／津幡町手をつなぐ育成会／社会福祉法人 つくしの会

YouTubeを活用した動画配信

トナミ運輸バドミントン部では、ステイホーム期間中に少しでもみなさんのお役に立てればと考え「トナミchannel【トナミ運輸公式動画チャンネル】」において、選手による正しい手洗いや、自宅できるトレーニング、クッキングなどの動画をアップしました。



コロナウイルス
感染予防対策
手洗い方法
嘉木選手ver.



STAY HOME支援
自宅でできるトレーニング「下半身編」
Kuroki選手ver.



STAY HOME支援
自宅でできるトレーニング「上半身編」
Kobayashi選手ver.

高速インターネット通信利用サービスの提供

高岡ケーブルネットワークは、新型コロナウイルスの影響で休校中の児童生徒に家庭学習を円滑に進めてもらおうと、休校中に自宅で遠隔授業などを受けている小学生から高校生までがいる世帯を対象に高速のインターネット通信利用サービスの提供をしました。

また、「こどもたちとの絆を振りかえるきっかけにしてほしい」と、休校中に放送した市内の小中学校教員からのメッセージをDVDにまとめ各校に贈りました。

災害義援金拠出

令和元年「台風19号」災害の被災地支援の義援金として中央共同募金会を通じて寄付を行いました。

被災された皆様に心よりお見舞い申し上げるとともに被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

交通遺児支援募金

トナミ運輸労働組合は、組合員から寄せられた募金177,566円を交通遺児支援に役立てもらうため富山県善意銀行に預託しました。

業務上、道路を利用することから、2011年から毎年募金を呼び掛けており、2019年度は組合員約600人が協力しました。

福祉支援活動

一般財団法人トナミホールディングス松寿会は、1994年3月にトナミ運輸(現トナミホールディングス)の創立50周年記念事業として、社会福祉の増進を図り、もって豊かで住みよい社会の発展に寄与することを目的に設立された団体です。

2014年4月1日、富山県内に限定されていた事業活動を全国で、かつ、より自由に行えるように財団法人から一般財団法人へ移行し、同時にトナミ松寿会からトナミホールディングス松寿会へ名称変更しました。

2019年度は北陸地域の4福祉団体(樹楽 高岡、NPO法人知的障害者のくらしを考える会、社会福祉法人 くるみ、社会福祉法人 共友会)へ福祉車両を1台ずつ寄贈しました。また、災害助成事業として、富山県共同募金会、中央共同募金会を通じて令和元年台風15号大雨千葉県災害支援金100万円、令和元年「台風19号」災害支援金150万円を寄付しました。この他、富山県内9ヵ所の「こども食堂」(豊田こども食堂の会、芝園こども食堂、いみず子ども食堂、木津ふれあい食堂、オタヤこども食堂、ひみキトキトこども食堂ネットワーク、子育て支援寺子クラブ「寺子こども食堂」、アトリエきらり「きらりおやこ食堂」、にながわふれあい子ども食堂)への寄付を行いました。



ペットボトルキャップの収集

トナミ運輸では、社会貢献活動の一環として、2019年11月度よりNPO法人Reライフスタイルが実施する「ペットボトルキャップ収集活動」に参加しています。集まったペットボトルキャップは樹脂メーカーへ引き渡し、その対価を認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)へ寄付、その後、国連児童基金(ユニセフ)本部から世界の子どもたちにワクチンが届けられています。また、ペットボトルキャップをゴミとして燃焼せずマテリアル(材料)リサイクルすることでCO₂排出削減にも寄与されます。

これまでに回収したキャップの数は約55,840個、約112名分の子どものワクチンに該当します。

また排出削減したCO₂は約409kgになります。

使用済み切手の収集

使用済み切手は、切手収集家に換金してもらうことで、海外の保険医療事情に恵まれない地域に、医師や看護師、保健師などの医療従事者を派遣すること、現地の医療従事者に学資援助すること、現地の人々や現地団体と協力して保健医療活動資金の一部として役立たれています。

トナミ運輸では、この活動に賛同し、2019年度より使用済み切手を収集しています。これまでに収集した切手は30,696枚、7,586gになります。

ランドセルをアフガニスタンへ寄贈

国際協力NGOジョイセフが行っている「想い出のランドセルギフト・眠っているランドセルをアフガニスタンの子どもたちへ」と題した取り組みに参画し、家庭で眠っているランドセルがないか呼びかけたところ、135個のランドセルが集まりました。集まったランドセルは、ジョイセフを通じてアフガニスタンの子どもたちに贈られます。

COMMENT

寄贈者コメント

2019年から会社が始めたこの取り組みに『素敵だな』と思い、当時5年生の娘に話したところ『役に立つなら使ってほしい』との二つ返事。雑だったランドセルの扱いも丁寧になりました。次に使う海の向こうの友達への彼女の優しさを知り、親としてうれしく思いました。綺麗に保管していた姉のランドセルと併せて寄贈しました。

遠いアフガニスタンで子ども達の役に立つよう願っています。

トナミ運輸 人事部
高越 香織



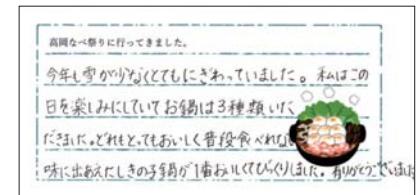
寄贈してくれた高越 董さん

日本海高岡なべ祭り 「なべ券」を贈呈

2020年1月11日・12日に日本海高岡なべ祭りが開催されました。

これは、新鮮な魚介類や地場野菜をふんだんに盛り込んだ鍋が堪能できるなべ祭りで、県内外のご当地自慢鍋も一同に楽しめます。中でも海鮮シチュー鍋は高岡の伝統産業の技術でつくった直径2メートルのジャンボ鍋で提供され、高岡の冬的一大イベントとされています。

トナミ運輸は、毎年このイベントに協賛しており、今年もなべ券100セットを社会福祉法人 高岡市社会福祉協議会へ贈呈し、社会福祉法人 たかおか万葉福祉会、社会福祉法人あしつきあしつきふれあいの郷、高岡愛育園のみなさんに利用して頂きました。後日、お礼のお手紙がたくさん届きました。



利用者の方からのお礼のお手紙

募金型自動販売機の導入

トナミ運輸では、提携のベンダー企業に協力を依頼し、募金型自動販売機を導入しました。

地球温暖化対策が求められている中、わずかでもCO₂削減に貢献したいと考え、「緑の募金」に寄付できる自動販売機の導入を決めました。

収益金の一部は地方緑化推進委員会を通じて公益社団法人国土緑化推進機構に寄付され、全国の緑化推進活動費用に充てられます。

今後はこの活動を当社グループ各社に広め、環境にやさしい活動への取り組みを推進していくと考えています。



募金型自動販売機

こども110番の家

社会貢献活動の一環として小学生の通学路沿いにある東洋ゴム北陸販売魚津営業所・砺波営業所・タイヤプロいみず店で「こども110番の家」として協力しています。

こども110番の家は、不審者に声をかけられるなど危険を感じて助けを求めてきたこどもを一時的に保護し、警察などに通報する場所のことです。

現在までには、幸いにも警察に通報するといったような危険なケースには遭遇していませんが、こどもが学校からの帰宅途中、転んで怪我をしてしまったため、消毒や絆創膏を貼って応急処置をしたり、トイレを貸してあげたりなどの活動を行っています。

こどもたちが少しでも困っているときの手助けになったり、少しでも安心な社会づくりに貢献できるように今後も継続して取り組んでいきたいと考えています。



こども110番の家

バンコク富山県人会の学校訪問

トナミタイランドは、2019年12月20日に毎年恒例のバンコク富山県人会による学校訪問に参加しました。

当日は、教材・遊具などを贈呈し、バンコク富山県人会が出資する奨学金で学校に通っている生徒達とも会いました。涙ながらに感謝の気持ちと将来の夢を語る姿に感銘を受け、今後もこの活動を継続していきたいと考えています。



学校訪問の様子

会社見学

2019年9月19日に、富山県内の大学や高等専門学校で構成される大学コンソーシアム富山主催の合同企業訪問が開催され、トナミ運輸に学生15名が見学に来られました。

当日は、流通センターなどを見学して頂き、学生からの質問に先輩社員が答える場も設けました。

参加した学生からは、「普段見ることのできない物流拠点を見学、身近な商品が保管されていたり、運ばれていく現場を見ることができ、貴重な経験となった」という声がありました。



周辺道路清掃(トナミ運輸)



質疑応答の様子

富山マラソン2019に協賛

2019年10月27日に開催された「富山マラソン2019」に今回もブロンズパートナーとして協賛しました。

令和初の開催となる今大会は、過去最多の14,236名が出場、沿道応援人数は125,000名、ボランティアスタッフ4,000名以上が大会運営を支えました。

トナミ運輸では、ランナーの手荷物の積み込み、引き渡しのほか、各給水ポイントへのドリンクや「鱒ずし」「かまぼこ」などの食品配給と引き取りを行い、運営スタッフとしても応援・参加しました。



参加者の手荷物積込み

プロ・アマスポーツチームへの協賛

トナミ運輸は、地域貢献活動の一環として、様々なスポーツチームを支援しています。

富山グラウジーズ【バスケットボール】



富山県富山市を本拠地としてBリーグに所属するプロバスケットボールチームです。

カターレ富山【サッカー】



富山県をホームタウンとするJリーグに加盟するプロサッカーチームです。

富山GRNサンダーバーズ【野球】



プロ野球独立リーグ・ベースボール・チャレンジ・リーグに所属する富山県のプロ野球チームです。

KUROBEアクアフェアリーズ【バレーボール】



富山県黒部市を本拠地として、Vリーグに所属している女子バレーボールチームです。

アランマーレ女子ハンドボールチーム【ハンドボール】



富山県射水市を拠点とし、日本ハンドボールリーグに所属している女子ハンドボールチームです。

バドミントン教室の開催

トナミ運輸バドミントン部は、国内各地から依頼されるバドミントン講習会などに選手を派遣し、地域貢献活動に積極的に取り組んでいます。ジュニア選手を対象にバドミントン講習会を行い、スポーツの素晴らしさを共有し、次の大会へ向け希望と夢をともに描き始めています。



2019年4月28日 新潟県黒崎町講習会

スポーツ支援活動

トナミ運輸 バドミントン部

1990年2月14日に創部され、2020年で30年の歴史を刻みました。1996年の全日本実業団選手権大会初優勝を契機に11度の優勝、リーグ戦10回、国民体育大会14回の優勝を収め、個人戦においても延べ50人以上の優勝者を輩出し、常に優勝を狙えるチームへと成長を遂げることができました。

「国内トップチーム・選手育成、オールトナミグループの企業イメージの向上と活性化、地域貢献活動」を胸に、各種大会や地域貢献に一生懸命取り組み、日頃からご支援・ご声援下さる皆様に感謝の気持ちを忘れず、さらなる精進を重ねてまいります。

TOPICS

第37回とやま賞受賞

トナミ運輸バドミントン選手の保木卓朗・小林優吾ペアは、2020年5月に、富山県ひとづくり財団「第37回とやま賞」を受賞しました。

これは、学術研究、科学技術、文化・芸術、スポーツの分野において、顕著な業績を挙げ、かつ将来の活躍が期待される人に対して奨励されるものです。

受賞をきっかけに、日本や世界、ふるさと富山のためへのさらなる貢献が期待されています。



(左)保木選手(右)小林選手

デザイントラックの製作

トナミ運輸では、ブランド戦略として「トナミ運輸とバドミントンのブランドコミュニケーション」を取り組んでいます。その一環として、選手をモチーフにしたデザイントラックを製作し、3月16日から、関東一関西間の幹線運行車として運用しています。

トナミ運輸の企業姿勢とバドミントン選手としての姿勢を重ね合わせ、メッセージを「GO! NEXT! 次のスピードに挑む。次の精度に挑む。」とし、常に現状に満足せず、さらに上のステージへ向かい、限界を超えていく。ロジスティクスにもバドミントンにも当てはまるメッセージでトナミブランドを感じもらいたいと考えています。

また、「GO! NEXT! スピリットの開放」をデザインコンセプトとし、トナミのパンサーマーク、そして、バドミントン部のユニフォームに使われるトナミ・イエローをトラック全面に配色し、世界選手権で優勝したダブルスの園田啓悟・嘉村健士選手、女子の大堀彩選手ら7人の躍動感あふれる選手のビジュアルも含め、目立つ、引き込まれるデザインにこだわることで、トナミ運輸の新しい一面を印象づけるものとなっています。



●車両運用について

関東↔関西間の長距離幹線運行
所属事業所: トナミ運輸(株)浦和支店
(埼玉県さいたま市緑区)

●車両仕様

車両メーカー: 三菱ふそうトラック・バス(株)製
最大積載量: 13.9 トン
荷室全長: 964cm
安全装備: 自動運転レベル1
(衝突被害軽減ブレーキ、自動発進停止機能他)

TOPICS

S/Jリーグ4連覇達成

S/Jリーグ2019は、トップ4トーナメント(優勝決定戦)が富山県高岡市で開催されました。

当社チームは、Sリーグ首位(4戦全勝)でトップ4トーナメントに進出しました。準決勝で日本ユニシスと対戦して2-1で勝利し、決勝戦では、昨年同様NTT東日本との対戦になりました。急造ペア(保木・常山)で臨んだ第1ダブルスは、ストレートで勝利。王手をかけ迎えた第1シングルスは、惜しくもファイナルゲームで敗退し、勝負は第2ダブルスに委ねられました。エースの園田・嘉村ペアは園田選手の連戦による疲労、嘉村選手の負傷があったものの相手ペアの猛攻に耐え、見事チームの4連覇を決めました。

今大会でご声援を頂いた皆様、誠にありがとうございました。皆様方からの応援が4連覇達成の原動力です。心より感謝申し上げます。今後とも、チームTONAMIへの変わらぬご声援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

主将のコメント



この度S/Jリーグ4連覇を達成することができ、そしてトナミ運輸のホームである高岡で優勝を決められたことでも嬉しく思っています。これも皆様の応援、サポートがあったからだと感じています。本当にありがとうございます。

今期は怪我人も多く、正直優勝することは厳しい状態でした。しかし、出場した選手、ベンチで応援する選手、監督、コーチ含め全員で「ONE TEAM」として戦い、選手一人ひとりが最高のプレーをした結果、この4連覇を達成することができました。改めてトナミの強さ、これを団体戦というのを魅せることができたと思います。

これからも選手一同さらに努力し、最高のプレーをして、応援したいと思って頂けるように精進していきます。S/Jリーグになってからの優勝は、トナミ運輸しかないのでこれを継続させ、5連覇をめざして頑張ります。今後もトナミ運輸バドミントン部の応援をよろしくお願いします。



働きやすい職場づくり

人事制度、教育制度により、個々の人材を伸ばし、また、職場の安全確保、社員の「こころ」と「からだ」への配慮を通じ、働き方改革の取り組みの一貫として社員一人ひとりが活躍できる職場づくりを奨励しています。



ホワイト物流推進運動

トナミ運輸は、政府の重点施策のひとつである「ホワイト物流推進運動」の趣旨に賛同し、自主行動宣言を行うことで第21次中期経営計画において働き方改革を経営の中心に捉え、社内の改善活動や荷主との交渉の一層の進展に向か取り組んでいます。

自主行動宣言

①「物流の改善提案と協力」

取引先や物流事業者から、荷待ち時間や運転者の手作業で荷卸の削減、付帯作業の合理化について要請があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、自らも積極的に提案します。

②「パレット等の活用」

パレット、カゴ台車、折りたたみコンテナ、通い箱等を活用し、荷役時間を削減します。

③「船舶や鉄道へのモーダルシフト」

超長距離輸送について、トラックから鉄道等の利用への転換を行います。

④「運送契約の書面化の推進」

運賃契約の書面化を推進します。

⑤「荷役作業時の安全対策」

荷役作業を締結する場合には、労働災害の発生防止のため安全な作業手順の明示、安全通路の確保、足場の設置等の対策を講じるとともに、事故が発生した場合の責任の明確化を図ります。

⑥「異常気象時の運行の中止・中断等」

台風、豪雨、豪雪等の異常気象が発生した際やその発生が見込まれる際には、運転者の安全を確保するため、運行の中止・中断の判断を行い、お客様に理解を求めていきます。

⑦「データ交換の推進」

EDIパッケージ「イージープロWeb」をはじめとしたデータ交換を推進し、入力業務の省力化とお客様の作業合理化を図ります。

⑧「共同運行・共同配送の推進」

同業他社との幹線共同運行や配達の共同化を行い、生産性の向上を図ります。

⑨「人材確保への取組み」

将来のドライバー不足への対応として、「免許取得制度」、「メンター制度」等、社員の定着を踏まえた制度の充実を図っています。

⑩「有給休暇の取得推進」

「働き方改革」年次有給休暇5日取得を前提とし、それ以上の有給休暇を取得しやすい環境作りを進めて参ります。

健康経営の推進



社員の健康保持・増進を支えるため、健康経営に取り組んでいます。2020年3月に健康企業宣言(step2)金認定証を授与し、さらなるレベルアップをめざし活動を行っていきます。

■特定保健指導

40歳以上のメタボ該当者を対象とした特定保健指導を、タブレット端末を使った遠隔面談で実施しています。2020年6月末までに856名が受診し、ドライバーの受診率が大幅にアップしました。

■脳MRI健診

脳血管疾患に起因する事故を防止する目的で、50歳と55歳の節目年齢の長距離ドライバーを対象に実施しています。これまでの受診者数は150名となり、早期発見につながった例もありました。産業医指導の下、診断結果に応じた指導を行っています。

■社内自動販売機にカロリー・糖質表示

■階段用消費カロリーステッカー

仕事中の飲み物や階段の活用で歩数を増やすことが、健康度アップにつながるため、会社としてサポートしていきます。

■新入社員・ドライバーを対象に健康教室開催

社員の健康と安全を守るために、健康教室を開催し、健康起因事故を防ぐための学びの機会を設けています。

■メンタルヘルスの取り組み

①ストレスチェック実施

全社員を対象に、年1回ストレスチェックを実施。受検率

は毎年アップしており、職場の集団分析結果は、中央安全衛生対策審議会に諮り、職場環境改善に活用しています。また、外部カウンセラーによる相談窓口を設置し、希望者全員に産業医面接を実施しています。

②心の健康づくり表明

わが社のメンタルサポートとして、全事業所にポスターを掲示しピーアールしています。

③階層別メンタルヘルス研修開催

新入社員や昇格者などを対象に、こころの健康状態を問い合わせ、社員のための健康な職場づくりを推進していくためセルフケアからラインケアについて学んでいます。

所属長のコメント



所属長

トナミ運輸
福井支店
西 和広

男性中心の職場の中で彼女は、非常に元気があって、周りも明るくなります。何事にも前向きに取り組む姿勢や、やりがいを持って仕事に取り掛かる様子は、男女の差を感じさせないパワフルさを感じます。もちろん苦労している場面もありますが、周囲と協力しあって乗り切っています。彼女の活躍はこれまでの「ドライバーは男の職業」という考え方を変える上で、十分な頑張りを見せてく

れています。今後も彼女の成長を手助けし、トナミ運輸の大きな助けとなる存在に成長してくれることを期待しています。

女性ドライバーの活躍

労働人口減少に伴うトラックドライバー不足の中で、女性ドライバーの活躍が進んでいます。トラックドライバーというと、過去から男性の職業というイメージが強く、トナミ運輸においても働くドライバーの大半が男性です。商業貨物を多く取り扱うトナミ運輸の特積事業において、男性に負けず頑張っている女性ドライバーが増えています。力では男性に敵いませんが、仕事に取り組む姿勢は男性にも負けません。これからも女性ドライバーが活躍できる職場づくりを進めていくことも、トナミ運輸の将来につながるものと考えています。



女性ドライバーコメント



女性ドライバー

トナミ運輸
福井支店
吉川 南

元々、人と接して話をしたり、運転することが好きだったので、その両方が実現できるドライバー職を選びました。実際仕事に就いてみると、荷物を積むときに効率の良い積み方を考えて積むことは楽しいし、お客様のところに行くと「ありがとうございます」と「頑張って」と皆さん声をかけてくださるので、すごく励みになります。たまに重い荷物もあって大変な思いをすることもありますが、福井支店のみなさんがすぐに助けてくれます。お客様先でも会社内でも人のつながりを感じられて、とても充実しています。今は2トン車に乗っていますが、将来は4トン車に乗って、もっと多くの荷物を運んで会社や社会に貢献していきたいです。

女性社員スキルアップ研修

将来的な女性管理職を育成するための「女性社員スキルアップ研修」を実施しています。

研修は、各職場より選抜されたリーダー的資質を備えた女性社員が受講し、知識・能力にさらに磨きを掛け、女性特有の優しさや気遣いを発揮しつつ職場や職務の責任者に育てることを目的としています。2020年は、これまでに研修を受講した女性社員の中から2名の女性管理職が誕生しました。



メンター制度

トナミ運輸では、新入社員の早期離職を防止するため、メンター制度を導入しています。

対象は内勤職とドライバー職であり、入社時からの関わりを深めることで、悩みや不満の早期解決を図って人材の定着に繋げています。



当初は新入社員への声掛け・悩みを相談できる理解者としての役割をメンターに求めていましたが、徐々に良き助言者・指導者としての役割が強くなっており、メンターに設定されている先輩社員の意識の向上にも表れています。



コーポレートガバナンス

トナミホールディングスグループは、コーポレートガバナンスを強化し、社会・ステークホルダーから信頼される企業として、さらなる価値創造をめざします。

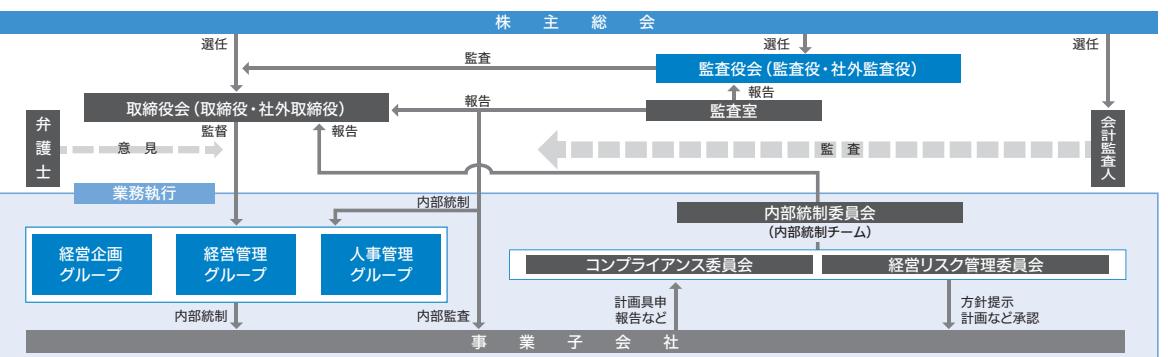


役員紹介



※取締役 犬島伸一郎氏、田中一郎氏は社外取締役、監査役 松村篤樹氏、尾田利之氏は社外監査役であります。

コーポレートガバナンス体制組織図



①会社の機関の内容及び内部統制システム

当社は、経営方針及び経営戦略に関わる重要事項を担当する機関として、社外取締役2名を含む9名で構成する取締役会を設置しております。

取締役会は、取締役会規則に基づいて月1回これを開催することを原則とし、その他必要に応じて随時開催して、取締役会の意思疎通を図るとともに相互に業務執行を監督し、必要に応じて外部の専門家を起用し、法令定款違反行為を未然に防止することをいたしております。

また、内部統制構築の一環として、監査役制度を採用しており、常勤監査役2名、社外監査役2名の4名体制で構成し、監査役は取締役会及びその他重要会議への出席や意見の具申などで取締役の適法性について監査しております。

取締役の職務執行については、監査役会の定める監査の方針及び分担に従い、社外監査役を含め各監査役の監査対象となっております。

取締役が他の取締役の法令定款違反行為を発見した場合は、直ちに監査役及び取締役会に報告し是正を図ることとしており、内部監査部門として業務執行部門から独立した監査室を置いております。

なお、一般株主との利益相反が生じるおそれのない独立役員4名を選任し、外部の視点での取締役会の監督機能の強化を図ることとしております。

さらに、コンプライアンス体制の基礎として「トナミグループ社員行動規範」を定め、意思決定機関として社長を委員長とする内部統制委員会を設置し、内部統制担当役員を中心とする内部統制システムの向上を図っております。

コンプライアンスの統括組織としてコンプライアンス委員会を設置し、内部統制チーム（監査室）が内部統制体制の維持・向上のための統括・運営・研修を実施しております。

事業子会社における業務の適正を確保するため、グループ事業子会社すべてに適用する行動指針として「トナミグループ社員行動規範」及び、「グループ運営規程」を定めるとともに、これを基礎として、グループ事業子会社で諸規程を定めております。なお、経営管理については、「グループ会社管理要領」により、承認・報告事項を定め、事業子会社経営の管理を行っております。

②内部統制システムの整備の状況

当社グループの内部統制システムの整備状況にあたっては、経営リスクマネジメントに関する基本方針を定め、事業子会社の運営に影響を及ぼすおそれのある様々なリスクへの適切な対応を行い、経営基盤の安定化を図るとともに、万が一、経営リスクが発生した場合の影響を極小化し、当社グループの損失及び社会的損失をできる限り発生させないよう取り組んでおります。

さらに、コンプライアンスの重要性を認識し、コンプライアンス委員会を設置し、「トナミグループ社員行動規範」に基づき、トナミホールディングスグループ事業子会社の役員社員に企業倫理と法令遵守を浸透させるため推進担当者を選任し、コンプライアンスに関わる教育説明会を実施しております。

また、企業活動において、あらかじめ違反行為が起こり得る可能性を抽出し、未然防止を図るよう推進状況を報告させ、違反行為が発生した場合は早期に解決し、再発防止を講ずるコンプライアンス体制を構築しております。

なお、取締役会が決定した基本方針に基づき、速やかな業務執行に努めており、経営に関する法令遵守事項などについては、必要に応じて公認会計士や弁護士などの専門家から助言を受け参考しております。

そして、「グループ運営規程」を基礎として、グループ事業子会社各社で諸規程を定め、「グループ会社管理要領」により承認・報告事項を定め、事業子会社の経営管理を行うことにより、経営環境の変化に速やかに対応する体制を整え、経営の健全化に努めております。

また、業務執行が適切で効率よく行われているかについては、監査室による内部監査を実施し、監査役及び取締役会に報告を行っております。

反社会的勢力に対しては、毅然とした態度で臨み、一切の関係を持たないこととしております。また、不当要求などの介入に対しては、警察などの外部専門機関との緊密な提携のもと、関係部署が連携・協力して組織的に対応し、利益の供与は絶対に行わないこととしております。

コンプライアンス体制の整備

当社グループは、遵法及び倫理の観点から、役員・社員が心がけるべき基本事項を、「トナミグループ社員行動規範」として定めています。2015年6月には法務部を設置し、法的リスクへの適切かつ機動的な対応を強化しました。

コーポレートガバナンス体制の一環としてコンプライアンス委員会、その傘下に事業子会社のコンプライアンス部会を設置しています。

トナミグループ社員行動規範

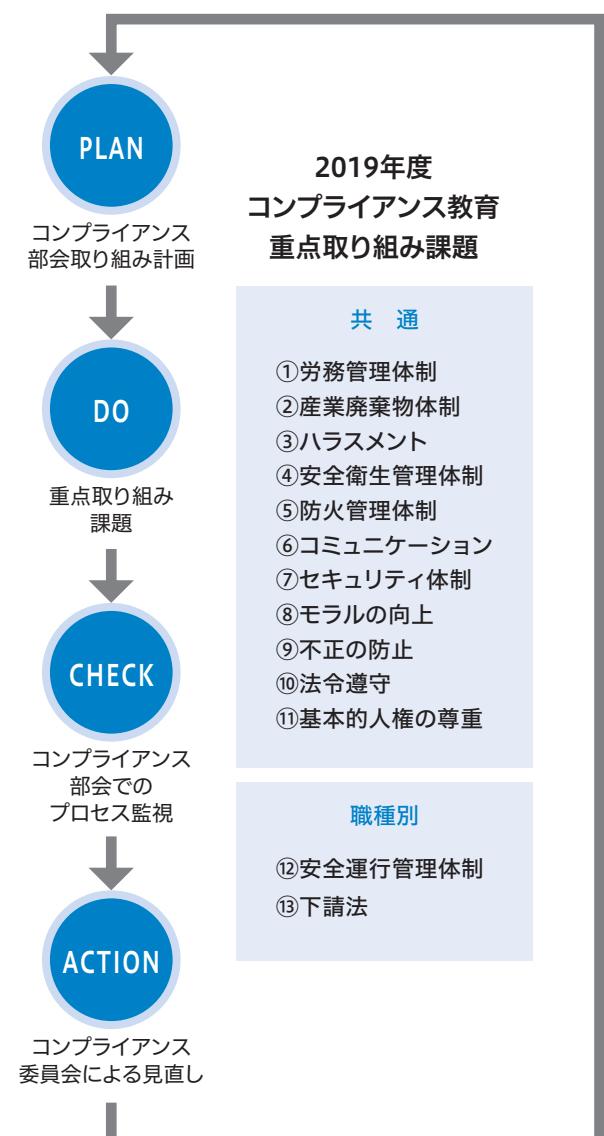
- ①お客様に、常に安全・確実・迅速な物流サービスを提供します。
- ②地球環境を守るために、物流サービスのあらゆる段階において環境負荷低減に努めます。
- ③輸送活動にあたって、法・社会倫理・社内規定を遵守します。
- ④公正な企業活動をします。
- ⑤整理・整頓を心がけ、清潔を保って快適な作業環境を維持します。
- ⑥基本的人権を尊重し、良好な職場環境を維持します。
- ⑦企業情報・得意先情報・個人情報の保護に細心の注意を払います。
- ⑧得意先の価値創造に役立つコンセプトを構想、提案します。
- ⑨コンピュータ・ネットワークの不正な利用、業務目的以外の使用をしません。



コンプライアンス教育の取り組み

2019年度のコンプライアンス教育は、重点取り組み課題として社会環境とともに変化する様々なリスクの低減に向け、地域特性や事業環境に合致した情報発信や問題提起を行い、全職種共通テーマと職種別テーマに分けてコンプライアンス各部会で教育を実施しました。

その教育の実施状況について、各部会から結果報告を求め、コンプライアンス委員会で評価を行い、マネジメントレビューを実施しました。今後とも定期的にPDCAサイクルを回すことによって継続的にコンプライアンス意識の向上を図ります。



相談窓口の設置

法令違反などの早期発見と未然防止を主な目的として社内通報窓口を設置しているほか、ハラスメントに対する外部相談窓口を設置しています。

相談窓口の運営にあたっては、別で定める「コンプライアンス規程」を遵守し、関係する個人のプライバシーを十分に尊重しています。相談内容は、相談者本人の同意がない限り、社内外を問わず一切共有・公開はしません。また、相談によって社内で不利益を被ることは一切ないことを保証しています。

コンプライアンスホットライン(社内通報窓口)

社内の不正行為、不公正な取引、倫理規定違反などの事実があった場合の通報窓口としてコンプライアンスホットラインを設置しています。

ハラスメントヘルpline(外部相談窓口)

ハラスメントに対する外部相談窓口を設置しています。コンプライアンスホットライン同様、顧問弁護士事務所と連携し、通報者のプライバシーを守ります。

リスク管理体制の整備

経営リスクマネジメント方針を定め、社長を最高責任者とする経営リスク管理委員会を設置し、事業運営に影響を及ぼす様々なリスクに対応するために「トナミホールディングスグループ経営リスクマネジメント管理規程」を制定しています。

経営リスクマネジメント方針

自然災害、事故などの人為的災害、及び経営上の様々なリスクに的確に対処し、経営目標の達成を阻害するすべての要因を可能な限り防止し、排除することにより、社会的責任を果たす。

経営リスクマネジメント行動指針

- ①経営リスクマネジメントに関する計画を策定し、実施する。
- ②当社の役員及び従業員等及び関係者の安全・健康を確保する。
- ③当社の資産の保全を図る。
- ④経営リスクが顕在化した場合には、責任ある行動をとる。
- ⑤被害が発生した場合には、速やかな回復を図る。
- ⑥経営リスクに関連する社会的要請を当社の経営リスクマネジメントシステムに反映する。

ISMS認証取得

お客様の個人情報や情報資産の管理強化、サービスの安全性・信頼性の一層の向上を図るため、情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)認証取得を奨励しています。トナミ運輸は、2007年3月及び2012年6月、KSRは2009年8月にISMSの認証を取得しました。



ISO27001認定証



上記は、インターネットプロバイダ業務及びデータセンター運用サービスのものです。

公益通報者保護法への対応

当社は、「トナミホールディングスグループ社内通報規程」を制定しています。監査室を通報・相談窓口として、①通報者の保護、②グループ内に潜むリスクの早期発見、③不正通報の濫用の抑止などに努めています。

個人情報保護の取り組み

2005年4月の個人情報保護法の施行に伴い、個人情報の適切な利用と保護のための実践遵守基準を明確にした「個人情報保護コンプライアンスプログラム」を制定しています。お客様や取引先の個人情報の利用目的の適正利用を原則として、細心の注意をもって、責任ある取り扱いに努めています。また、2016年1月からのマイナンバー制度の本格的な運用開始に伴い、当社グループは、「特定個人情報の適正な取扱いに関する方針」及び「特定個人情報等取扱規定」を作成し、マイナンバーをはじめとする特定個人情報の管理について、必要かつ適切な安全管理措置を行う体制を確立しました。今後も特定個人情報を取り扱う事務従事者への教育を実施し、特定個人情報が適切に管理運用されるよう徹底していきます。

トナミホールディングスは、プライバシーポリシーをホームページ上で公開しています。
<http://www.tonamiholdings.co.jp/privacy/>

GO!
FOR
NEXT!



次のスピードに挑む。次の精度に挑む。

TONAMI

トナミホールディングス株式会社

〒933-8788 富山県高岡市昭和町3-2-12
TEL(0766)32-1073 FAX(0766)32-1077

<http://www.tonamiholdings.co.jp/> (本報告書はホームページでもご覧頂くことができます。)

UD
FONT
by HIRAGINO
見やすいユニバーサル
デザインフォントを採用
しています。